



## 平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年11月9日

上場取引所 東 名

上場会社名 株式会社ユー・エス・エス  
 コード番号 4732 URL <http://www.ussnet.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 安藤 之弘  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役統括本部長 (氏名) 山中 雅文 TEL 052-689-1129  
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月12日 配当支払開始予定日 平成27年12月11日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有  
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家、証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績 (平成27年4月1日～平成27年9月30日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	33,643	4.3	16,763	6.6	17,106	6.7	11,292	8.7
27年3月期第2四半期	32,254	△0.4	15,731	3.9	16,028	3.9	10,384	11.6

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 11,368百万円 (9.4%) 27年3月期第2四半期 10,386百万円 (9.4%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
28年3月期第2四半期	43	66	43	58
27年3月期第2四半期	40	18	40	10

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	百万円	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	175,023	150,369	150,369	150,369	85.4
27年3月期	174,106	144,039	144,039	144,039	82.2

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 149,485百万円 27年3月期 143,098百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円	円	円	円	円
27年3月期	—	18.50	—	19.20	37.70
28年3月期	—	20.40	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	20.40	40.80

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円
通期	70,000	3.8	35,200	5.4	35,900	5.5	23,400	8.0	90.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 有
- ④ 修正再表示： 無

(注) 詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

28年3月期2Q	313,250,000株	27年3月期	313,250,000株
28年3月期2Q	54,619,735株	27年3月期	54,691,235株
28年3月期2Q	258,588,493株	27年3月期2Q	258,455,477株

(注) 平成27年3月期の期末自己株式数には685,600株、平成28年3月期2Qの期末自己株式数には631,300株、U S S従業員持株会専用信託が所有する株式が含まれております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
4. 補足情報	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における自動車流通市場のうち、新車販売については、登録車が前年同期を僅かに上回ったものの、軽自動車は、平成27年4月からの軽自動車税増税の影響により大幅に減少し、新車登録台数全体では2,329千台（前年同期比5.8%減）となりました。

中古車流通市場については、登録車および軽自動車ともに登録台数が前年同期を上回り、中古車登録台数全体では3,156千台（前年同期比1.7%増）となりました。（（一社）日本自動車販売協会連合会、（一社）全国軽自動車協会連合会調べ）

このような環境の中、オートオークション市場についても、新車登録台数減少の影響を受けて、出品台数は3,516千台（前年同期比2.1%減）となりましたが、成約台数は2,209千台（前年同期比2.0%増）、成約率は62.8%（前年同期実績60.4%）となりました。（（株）ユーストカー調べ）

U S Sグループの当第2四半期連結累計期間における経営成績は、売上高33,643百万円（前年同期比4.3%増）、営業利益16,763百万円（前年同期比6.6%増）、経常利益17,106百万円（前年同期比6.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益11,292百万円（前年同期比8.7%増）となりました。

### オートオークション

U S Sグループの出品台数は、オートオークション市場全体の出品台数が伸び悩み中、大規模会場を中心に台数が増加し、出品台数は1,147千台（前年同期比1.9%増）、成約台数は754千台（前年同期比3.9%増）、成約率は65.8%（前年同期実績64.5%）となり、オークション手数料収入が増加しました。

営業費用については、減価償却費が減少したものの、商品売上原価などが増加しました。

この結果、オートオークション事業は、外部顧客に対する売上高25,201百万円（前年同期比5.2%増）、営業利益16,124百万円（前年同期比7.1%増）となりました。

### 中古自動車等買取販売

中古自動車買取専門店「ラビット」は、好調なオークション相場により台当たり粗利益が増加したことに加え、買取台数も増加したことから増収増益となりました。一方で、事故現状車買取販売事業は、販売台数の減少により減収減益となりました。

この結果、中古自動車等買取販売事業は、外部顧客に対する売上高4,883百万円（前年同期比1.4%増）、営業利益316百万円（前年同期比75.8%増）となりました。

### その他

廃自動車等のリサイクル事業は、自動車部品の売上高が増加したものの、鉄スクラップ相場が低調に推移したことなどから、増収減益となりました。

廃ゴムのリサイクル事業は、主力製品であるカラー着色の弾性舗装用ゴム製品の取扱量が増加したものの、原材料単価の上昇や長期在庫の処分費用が発生したことなどから営業損失となりました。

中古自動車の輸出手続代行サービス事業は、取扱台数が減少したため、減収減益となりました。

この結果、その他事業は、外部顧客に対する売上高3,558百万円（前年同期比2.2%増）、営業利益211百万円（前年同期比49.3%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は175,023百万円となり、前連結会計年度末と比較して917百万円増加しました。これは名古屋会場の立体駐車場建設に伴い建設仮勘定が2,560百万円増加した一方で、オークション貸勘定が2,002百万円減少したことなどによるものであります。

負債合計は24,654百万円となり、前連結会計年度末と比較して5,412百万円減少しました。これはオークション借勘定が1,691百万円減少したことや、未払法人税が833百万円減少したことなどによるものであります。

純資産合計は150,369百万円となり、前連結会計年度末と比較して6,330百万円増加しました。これは、利益剰余金が6,314百万円増加したことなどによるものであります。

## &lt;キャッシュ・フローの状況&gt;

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して3,779百万円減少し、25,682百万円となりました。なお、当第2四半期連結累計期間における連結キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は9,556百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益17,043百万円（前年同期比4.5%増）、法人税等の支払額6,599百万円（前年同期比17.8%減）によるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は8,252百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出3,154百万円（前年同期比112.6%増）、定期預金の純増加額3,000百万円（前年同期比30.4%増）によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は5,083百万円となりました。これは主に、配当金の支払額4,977百万円（前年同期比2.4%増）によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間における営業利益、経常利益、および親会社株主に帰属する四半期純利益は、前回公表（平成27年5月13日発表）した予想を上回る結果となりました。

下期については、平成27年8月3日に公表しましたとおり、株式会社カーククエスト東洋事業部（平成27年10月1日付で株式会社東洋ゴムチップとして新設分割）が連結対象外となる予定であることから通期の業績予想を修正しております。

オークション事業につきましては、出品台数2,452千台（前回公表2,510千台）、成約台数は1,562千台（前回公表1,556千台）、成約率は63.7%（前回公表62.0%）を見込んでおります。

連結業績予想につきましては売上高70,000百万円、営業利益35,200百万円、経常利益35,900百万円、親会社株主に帰属する当期純利益23,400百万円を予想し、平成27年5月13日に公表いたしました通期の連結業績予想との差異は以下の通りとなります。

## (通期)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表資料(A)	71,200	35,000	35,600	23,400	90.50
今回修正予想(B)	70,000	35,200	35,900	23,400	90.48
増減額(B-A)	△1,200	200	300	—	
増減率(%)	△1.7	0.6	0.8	—	
前期実績	67,466	33,411	34,027	21,661	83.79

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### (税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### 会計方針の変更

##### (企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）および「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更および少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間および前連結会計年度については、四半期連結財務諸表および連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)および事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

#### 会計上の見積りの変更

##### (耐用年数の変更)

当社が保有する静岡会場の「建物及び構築物」は、当第2四半期連結会計期間において建て替えを決定しており、これに伴い除却見込みとなる資産について耐用年数を建て替え予定月までの期間に見直し、将来にわたり変更しております。

これにより、従来の方と比べて、当第2四半期連結累計期間の減価償却費が31百万円増加し、営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益が同額減少しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	49,862	49,082
オークション貸勘定	7,885	5,882
受取手形及び売掛金	2,963	2,650
有価証券	10,100	12,100
たな卸資産	1,125	1,043
その他	1,436	1,864
貸倒引当金	△39	△36
流動資産合計	73,334	72,588
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	31,070	29,933
土地	57,760	57,668
建設仮勘定	456	3,017
その他(純額)	2,100	1,976
有形固定資産合計	91,388	92,595
無形固定資産		
その他	1,137	1,118
無形固定資産合計	1,137	1,118
投資その他の資産		
投資その他の資産	8,331	8,818
貸倒引当金	△85	△96
投資その他の資産合計	8,245	8,721
固定資産合計	100,771	102,435
資産合計	174,106	175,023
<b>負債の部</b>		
流動負債		
オークション借勘定	9,753	8,061
支払手形及び買掛金	556	505
未払法人税等	5,916	5,083
引当金	618	618
その他	7,066	4,215
流動負債合計	23,910	18,484
固定負債		
長期借入金	300	171
退職給付に係る負債	149	191
資産除去債務	682	703
その他	5,023	5,103
固定負債合計	6,156	6,169
負債合計	30,067	24,654

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	18,881	18,881
資本剰余金	18,933	18,930
利益剰余金	149,718	156,032
自己株式	△38,878	△38,822
株主資本合計	148,654	155,022
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	103	121
土地再評価差額金	△5,659	△5,659
退職給付に係る調整累計額	0	0
その他の包括利益累計額合計	△5,555	△5,536
新株予約権	273	307
非支配株主持分	666	576
純資産合計	144,039	150,369
負債純資産合計	174,106	175,023



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	32,254	33,643
売上原価	12,419	12,917
売上総利益	19,835	20,725
販売費及び一般管理費	4,104	3,962
営業利益	15,731	16,763
営業外収益		
受取利息	17	25
不動産賃貸料	252	271
雑収入	82	88
営業外収益合計	351	385
営業外費用		
支払利息	0	—
不動産賃貸原価	45	40
雑損失	8	1
営業外費用合計	54	42
経常利益	16,028	17,106
特別利益		
固定資産売却益	23	6
投資有価証券売却益	276	—
その他	26	—
特別利益合計	326	6
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	47	58
その他	—	10
特別損失合計	48	69
税金等調整前四半期純利益	16,306	17,043
法人税等	5,823	5,694
四半期純利益	10,483	11,349
非支配株主に帰属する四半期純利益	98	57
親会社株主に帰属する四半期純利益	10,384	11,292

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
四半期純利益	10,483	11,349
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△96	18
退職給付に係る調整額	—	△0
その他の包括利益合計	△96	18
四半期包括利益	10,386	11,368
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,288	11,310
非支配株主に係る四半期包括利益	98	57

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	16,306	17,043
減価償却費及びその他の償却費 のれん償却額	1,790	1,605
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	5	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	5	8
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△10	△0
受取利息及び受取配当金	6	41
支払利息	△28	△38
投資有価証券売却損益 (△は益)	0	—
有形固定資産除売却損益 (△は益)	△276	—
オークション勘定の増減額	26	52
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,563	310
仕入債務の増減額 (△は減少)	418	312
預り金の増減額 (△は減少)	△184	△50
預り金の増減額 (△は減少)	△1,151	△1,062
その他	196	△2,118
小計	15,541	16,104
利息及び配当金の受取額	33	52
利息の支払額	△0	△0
法人税等の支払額	△8,024	△6,599
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,548	9,556
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の純増減額 (△は増加)	△2,300	△3,000
有価証券の取得による支出	△6,000	△10,000
有価証券の償還による収入	—	8,000
有形固定資産の取得による支出	△1,483	△3,154
有形固定資産の売却による収入	43	11
無形固定資産の取得による支出	△230	△94
投資有価証券の売却による収入	553	—
投資不動産の売却による収入	229	—
その他	△126	△15
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,314	△8,252
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△169	△129
預り保証金の預りによる収入	93	121
預り保証金の返還による支出	△53	△28
自己株式の取得による支出	△0	—
自己株式の売却による収入	108	117
配当金の支払額	△4,860	△4,977
非支配株主への配当金の支払額	—	△147
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△16	△39
その他	0	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,898	△5,083
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△6,663	△3,779
現金及び現金同等物の期首残高	34,618	29,462
現金及び現金同等物の四半期末残高	27,954	25,682

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	オートオー クシヨ	中古自動 車等買取 販売	計				
売上高							
外部顧客への売上高	23,958	4,814	28,773	3,480	32,254	—	32,254
セグメント間の内部売上高または振替高	332	0	332	1	334	△334	—
計	24,291	4,815	29,106	3,482	32,589	△334	32,254
セグメント利益	15,057	179	15,237	416	15,654	76	15,731

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、株式会社アビツの廃自動車等のリサイクル事業と株式会社カークエストの廃ゴムのリサイクル事業および株式会社USSロジスティクス・インターナショナル・サービスの中古自動車の輸出手続代行サービス事業等でありま

す。

2. セグメント利益の調整額76百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	オートオー クシヨ	中古自動 車等買取 販売	計				
売上高							
外部顧客への売上高	25,201	4,883	30,085	3,558	33,643	—	33,643
セグメント間の内部売上高または振替高	313	0	313	2	316	△316	—
計	25,515	4,884	30,399	3,561	33,960	△316	33,643
セグメント利益	16,124	316	16,440	211	16,651	112	16,763

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、株式会社アビゾの廃自動車等のリサイクル事業と株式会社カークエストの廃ゴムのリサイクル事業および株式会社USSロジスティクス・インターナショナル・サービスの中古自動車の輸出手続代行サービス事業等でありませ

2. セグメント利益の調整額112百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## 4. 補足情報

## (1) 業績

(連結業績)

(単位：億円)

	27年3月期	28年3月期		
	第2四半期	第2四半期	増減率(%)	通期予想
売上高	322	336	4.3	700
営業利益	157	167	6.6	352
経常利益	160	171	6.7	359
親会社株主に帰属する四半期 (当期)純利益	103	112	8.7	234

## (2) セグメント別営業収益

(連結業績)

(単位：億円)

	27年3月期	28年3月期		
	第2四半期	第2四半期	増減率(%)	通期予想
《オートオークション》				
出品手数料	61	61	0.3	131
成約手数料	56	59	5.0	123
落札手数料	80	86	6.9	181
商品売上高	5	7	48.7	15
その他の営業収入	36	37	4.0	75
オートオークション計	239	252	5.2	528
《中古自動車等買取販売》				
中古自動車買取販売	31	33	4.6	72
事故現状車買取販売	16	15	△4.8	34
中古自動車等買取販売計	48	48	1.4	106
《その他》				
廃自動車等のリサイクル	25	25	2.1	51
廃ゴムのリサイクル	5	6	7.3	6
中古自動車の輸出手続	3	2	△5.8	6
代行サービス	0	0	△2.3	0
その他	0	0	△2.3	0
その他計	34	35	2.2	65
合計	322	336	4.3	700

## (3) 設備投資額、減価償却費

(連結業績)

(単位：億円)

	27年3月期	28年3月期		
	第2四半期	第2四半期	増減率(%)	通期予想
設備投資額				
支出ベース	17	32	89.6	100
完工ベース	27	7	△73.1	100
減価償却費	17	15	△8.9	32